

### 友達と一緒に遊ぼう

**3歳児**  
 ☆「～をして遊びたいな」「○○ちゃんと一緒に遊ぶよ」「先生！見て見て」「貸して」「いいよ」  
 「(4・5歳児を見て)すごいな」「いれて」「今日はお店の人になりたいな」

◆友達や4・5歳児の姿や遊びに関心もてるような言葉掛けをし、自分もやってみたいという気持ちもてるようにする。  
 ◆教師も仲間となり一緒に遊びながら場の雰囲気盛り上げ、友達と一緒に遊ぶ楽しさが味わえるようにする。

**4歳児**  
 ☆「楽しそうだな」「一緒にやってみたいな」「○○ちゃんを誘おうかな」「見て見て、こんなのできたよ」  
 「(5歳児を見て)かっこいいな」「やってみたいな。どうやったらいいのかな」「先生、教えて」

◆教師も一緒に遊ぶことで遊びを盛り上げたり、幼児同士のやり取りを見守ったり仲立ちをしたりして、友達と遊ぶ楽しさが味わえるようにする。  
 ◆ステージごっこやお店屋さんなどで異年齢で関わって遊べるよう、それぞれの遊びの場をつなげたりお客として参加したりして、自分もやってみようという意欲もてるようにする。  
 ◆自信をもって表現したり、充実感を味わっている姿に共感し、認める。

**5歳児**  
 ☆「こうしてみよう」「これはどうかな」「○○ちゃん、いい考えだね」  
 「私が○○するよ、○○ちゃんはどうする？」「私も○○ちゃんみたいにしてみよう」

◆幼児が考えたこと、やりたいことが実現できるように、見守ったり、必要に応じて一緒に考えたりしていく。  
 ◆一人一人の幼児のよさを具体的に認め、褒めることで、自分や友達のよさにも気付くことができるようにする。

### 体を動かして遊ぼう

**3歳児**  
 ☆「見て、ほくできるよ！」「先生、手伝って」「おにごっこでタッチされないように逃げよう」

◆「やってみよう」という気持ちを大切に補助をしたりできた喜びを共有したりして、頑張っている姿を認めていく。  
 ◆教師も一緒に遊ぶことで、「やってみようかな」と思えるきっかけをつくる。  
 ◆教師も仲間となって遊びながら場の雰囲気盛り上げ、友達と触れ合う楽しさが感じられるようにする。

**4歳児**  
 ☆「○○ちゃんすごい！」「私もやりたい」「なかなかうまくいかないなあ」  
 「○○して、チームを決めよう」「(負けて)悔しかった」「こうしたらいいんじゃない」

◆自分なりに意欲をもって遊んでいる姿を認め、補助をしたり励ましの言葉を掛けたりする。  
 ◆遊びのルールに気付かせたり、ルールを守っている姿を認めたりし、集団での遊びが楽しくなることに気付けるようにする。

**5歳児**  
 ☆「～まで頑張ってみよう」「先生見て、○○ちゃんあそこまでできたよ」  
 「～して遊ぶよ。だれかやる人いないかな」「ルールはこうだよ」「いっぱい遊んだら、気持ちいいね」

◆頑張っている姿を認めたり、途中でくじけそうな幼児には励ましの声を掛けたりしながら、互いに応援し合えるような雰囲気づくりをしていく。  
 ◆コツを教えたり手伝ったりするなど、幼児同士で関わる姿を大切に認めていく。  
 ◆ルールのある遊びの中で、勝ったり負けたりする嬉しさや悔しさに共感し声を掛けながら、遊びへの意欲もてるようにする。  
 ◆幼児同士で遊びのルールを考えたり、思いを伝え合う中でトラブルになったりする姿を大切に受け止め見守りながら、必要に応じて仲立ちする。

### ステージごっこ

【箱の太鼓・パチ・ポンポン・カセットデッキ・テープ・マット・頭飾り・衣装 等】

◎ 舞台のマットや観覧用のベンチ(シート)を用意し、踊る幼児も見ると幼児も楽しめるようにする。



◎ 幼児にわかりやすいように操作の仕方を印したデッキ、幼児たちのアイデアを生かしたプログラムやマイクなどを準備し、幼児が自分たちで順番を考え、進行しながら遊びを楽しめるようにする。



◎ ワゴンにステージごっこに必要な道具や衣装等を入れ、自分たちで遊びの準備をしたり、選んだりしながら遊びが進められるようにする。



◎ 頭飾り(幼児の手作りの物など)やポンポンなどを準備し、イメージに合わせて踊りを楽しめるようにする。

### 迷路

【巧技台・平均台・トンネル・ケンステップ・フープ・エース棒 等】

◎ いろいろな動きが楽しめる遊具を準備し、幼児が相談したり協力したりしながら遊具を選び、組み合わせて遊べるようにする。



### ルールのある遊び

おにごっこ

◎ 場の確保をし、他の遊びとぶつからずしっかりと体を使って遊べるようにする。



ドッジボール【ボール・水引き用やかん】

◎ 参加人数に応じてコート(広さ)を考慮し、十分に体を動かして遊ぶことを楽しめるようにする。



### お店屋さんごっこ

【段ボール・机・椅子・はちまき・エプロン 等】

◎ 作った物を置いたり飾ったりする場を作り、ごちそう作りから、ごっこ遊びにもつながるようにする。



### どんぐり転がし

【どんぐり・段ボール・廃材(筒、空き箱など)・テープ・マジック等】

◎ 前日に遊んだ物を使って遊べるように残しておき、子供のアイデアで遊びが広がっていくようにする。



### 固定遊具や遊具を使った遊び

一輪車【補助スタンド】

◎ 他の遊びをしている幼児からも見える位置に場を設定し、幼児同士で頑張っている姿を見合ったり応援したりできるようにする。

竹馬【巧技台】

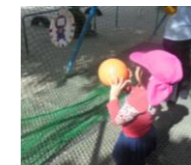
◎ いろいろな高さの竹馬や巧技台を用意しておき、自分で好きな高さを選ぶ

登り棒

◎ クラスカラーのテープを付け、めあてをもったり、幼児同士で声を掛け

ボール【ボール・玉・的・ネット】

◎ 投げる物や的などを幼児が選べるように準備し、自分なりの目標をもって投げて遊べるようにする。



### 9 評価の観点 ○幼児(・評価するときの幼児の姿) ●教師

3歳児

○先生や友達と触れ合って遊んでいたか。

・好きな遊びをしている。

●先生や友達と触れ合って遊ぶことを楽しめるような環境の工夫や言葉掛けができていたか。

4歳児

○友達や先生と関わりながら遊んでいたか。

・先生や友達と好きな遊びをしたり、誘ったり誘われたりして遊んでいる。

●先生や友達と好きな遊びをして遊ぶことができるような環境の工夫や言葉掛けができていたか。

5歳児

○めあてをもって友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいったか。

・友達と思いを共有しながら一緒に遊んでいる。

●めあてがもてるような環境の工夫や言葉掛けをしていたか。